

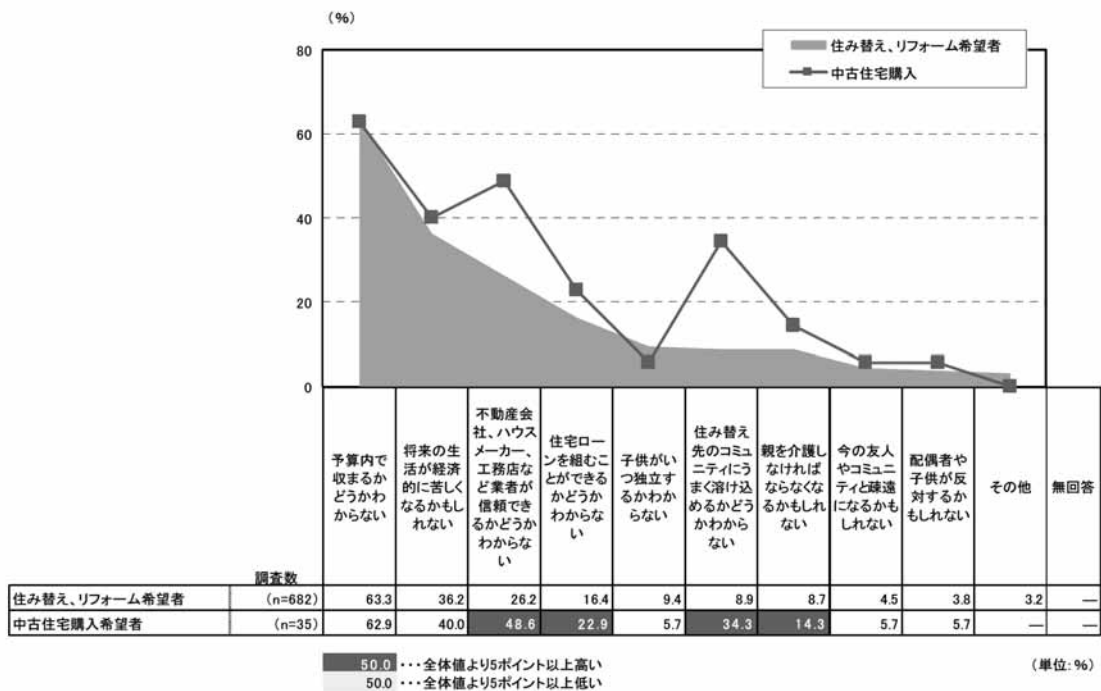
4 情報ニーズ

業者の信頼性や地域コミュニティに不安い

中古住宅購入希望者でも不安要素のトップは、「予算内で収まるかどうか分からない」だが、住み替え・リフォーム希望者全体の平均と比べた場合、特に中古住宅購入希望者のポイントが高くなっていく項目としては、「不動産会社、ハウスメーカー、工務店など業者が信頼できるかどうか分からない」という不安を挙げる事ができる。全体では26%にとどまっているのに対して、中古住宅購入希望者では実に49%に達しているのである。

そのほか、「住み替え先のコミュニティにうまく溶け込めるかどうか分からない」という不安も全体に比べると25ポイントほど高くなっている。

不安要素（住み替え・リフォーム希望者／複数回答）

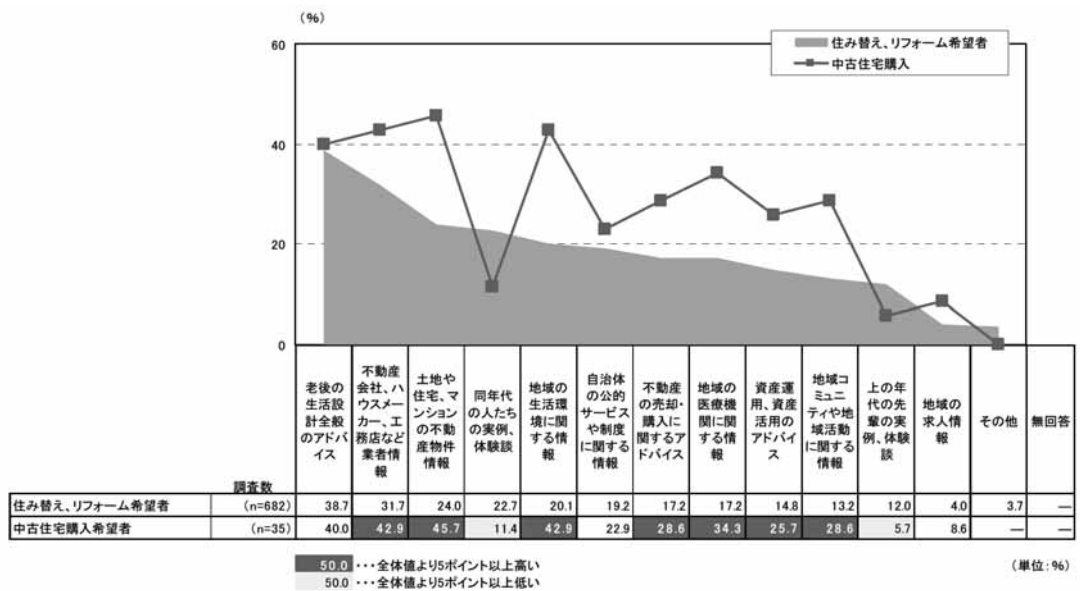


物件と業者情報のほか地域情報も重要

中古住宅購入希望者が必要とする情報を、住み替え・リフォーム希望者全体の数値と比較して、特にポイントが高くなっている項目をみると、まず物件や業者関連情報が挙げられる。上に挙げたような事情から、信頼できる業者から、信頼できる物件情報を得ることができるかどうか重要なポイントになってくるわけである。

また、現在の居住エリアを離れての購入を考えている人も少なくないことから、各種の地域情報へのニーズも強い。たとえば、「地域の生活環境に関する情報」は全体より23ポイント、「地域の医療機関に関する情報」は17ポイント、「地域コミュニティや地域活動に関する情報」は15ポイントほど高くなっている。

必要な情報（住み替え・リフォーム希望者／複数回答）



### 不動産情報サイトや住宅情報誌で情報収集

中古住宅購入希望者の情報収集法をみると、トップは「インターネットの不動産情報サイト」で、次いで「住宅情報誌」「不動産会社、ハウスメーカー、工務店などの業者のホームページ」「インターネットのセカンドライフなどの専門サイト」などが続いている。

全体と比べると特に不動産情報サイト、住宅情報誌のポイントが高く、まずは幅広く情報を求める傾向が強いことが分かる。さらに、セカンドライフの専門サイトやクチコミ掲示板など、インターネット上のコミュニティを利用する傾向も強い。

情報収集方法（住み替え・リフォーム希望者／複数回答）

